

# 「保育者の就労に関する意識調査」

いま、  
仕事は  
憧れて  
いた  
保育の  
仕事は  
出来  
ますか？

急速な少子高齢化により多くの業界で人手不足が深刻化するなか、保育の現場でも、就業者の減少が全国的な課題となっています。各施設では、新卒者の採用だけでなく、未経験者や復職者の受け入れ、現職員のライフステージの変化に柔軟に対応するため、多様な働き方の導入や職場の魅力向上に取り組んでいます。しかし、それが実際に求職者が求める職場になっているのか、不安を感じる場面も少なくありません。

近年では、求職者が情報を得る手段が増加し、他園との違いや他業種との比較が容易になりました。また、紹介業者の参入により転職のハードルも下がり、新規採用だけでなく現職員に長く働き続けてもらうことが事業継続のための重要な運営課題となっています。

そこでR6全国調査部長会議のグループミーティングで関心が高かった保育者の就労に関する意識調査を、インターネット調査の特徴である匿名性を活かし、保育者が施設の職場環境や就業条件に関して何を求め、どのようになって欲しいと感じているのかについて、率直な意見を収集し、保育の魅力向上と働きやすさの追求につなげたいと考えています。

本調査はインターネット調査で実施し、よりスピーディーな意見回収と結果報告を行います。皆さんからの回答が保育現場の『見える化』を推す力になります。  
(回答所要時間約5分)  
調査の回答はここから！



調査内容：右記「調査票」WEB調査  
<https://questant.jp/q/Shuroishiki>  
対象：保育施設に勤務する全ての方  
期間：令和7年12月1日～  
令和8年1月31日



その声を、子どもたちの未来のために



公益社団法人全国私立保育連盟 調査部

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館 TEL：03-3865-3880